

# 冬号 みどり通信

発行 21 世紀記念公園 麓山の杜  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17  
TEL 924-2194 FAX 924-2195

## 21 世紀記念公園内の様子



雪が無い園内も冬仕様になっており、サザンカや、ナナカマド、パンジーなどが園内を彩っています。花や葉のない木々にも、花芽が付いています。

## 【みどり講習会】

樹木医（樹木のお医者さん）から樹木の管理方法や注意点などを教えていただきます。

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付申請者及び希望者

日時：令和 2 年 3 月 8 日(日)

10:00～12:00

内容：庭づくりのポイント

\* 受講料無料、予約不要です。

お気軽にお越しください。

## My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス

### 【水やり】

今年は今の所、暖冬で雪ではなく雨になり、定期的に降るため、露地植えの場合は、水やりが不要のようです。ただし、3 月頃からは芽を開くために水分が必要となります。植え替えた場合は、特に水切れを起こさないようにします。鉢植えの場合は、乾燥したら暖かい日の午前中にあげるようにします。土が凍るのを防ぐようにします。室内に取り込んである寒さが苦手な鉢植えは、少し温まった水をあげるようにすると根が傷むことを防ぐことができます。

### 【植替え】

厳寒期を除けば落葉樹の適期になります。ただし、カエデ類、ボケ、ボタンなどは遅すぎます。カエデ類は、樹体内の水分の通導が早いため、植替えや剪定をすると、そこから水分が流失するので弱ってしまいます。その後、カミキリムシの被害が出やすくなります。

落葉樹は適期ではありますが、植え替えてから年数を経た場合や細かい根が少ないと思われる場合は、この時期に根回しを行って枯れる確率を低くします。根回しとは、植え替えの 1 年ほど前に太い根を環状はく皮（根の皮をはぎ取る）、細い根を切断し、良質土で埋め戻すことです。そうすると、細い根がぎっしりと、生えてきます。大事な樹木の場合は、常緑樹を含めて行くと、弱ったり、枯れたりする失敗が減らせます。針葉樹は、3 月中旬から 1 ヶ月くらいの間が植替えの適期になります。コニファー類は、この時期が適しています。常緑広葉樹は、3 月下旬から 4 月いっぱいにかけて適期になります。新芽が伸びてからではどの樹種も不向きです。植え替えの用土は、郡山市内で簡単に手に入る山砂（マサ土）ではなく、赤玉土をメインにして腐葉土などの有機質を混ぜて植え込むようにします。総ての土壌を入れ替える事は大変なので樹木の周りだけでも良質土に改良します。

## 【病害虫】

冬季だけに使用できる薬剤があります。石灰硫黄合剤やマシン油乳剤です。退治しにくいカイガラムシやアブラムシに効果があります。石灰硫黄合剤は病気に対しても効果があります。カイガラムシはこすり落とすのも防除方法のひとつです。

## 【ツノロウムシ（カイガラムシの一種）】

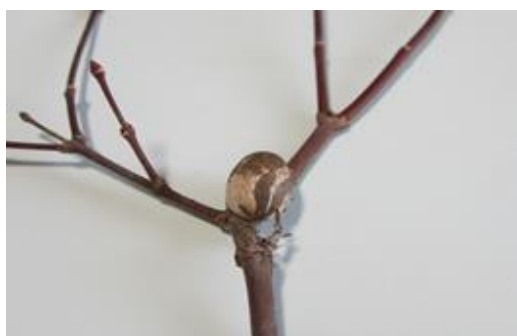


## 【マイマイガの卵塊】

この状態で越冬します。見つけ次第削り落とします。



## 【イラガの繭】



## 【肥料】

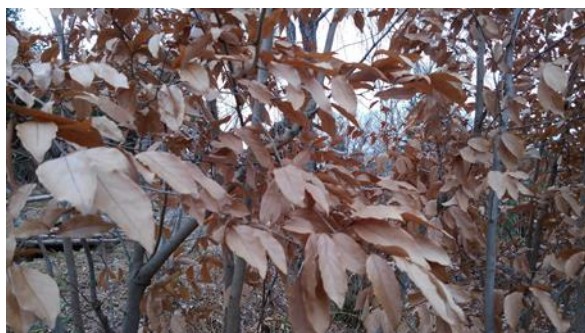
これから 3 月にかけて緩効性有機質肥料をあげる事が、今年の成長を左右します。寒肥といいます。骨粉入り醗酵済み油粕が適しています。この肥料は成分が少ないため、少し与えすぎても、肥料焼けでの失敗が少ないです。

多くは固形の出回っていますが、粒の大きさはどれでも構いません。与え方は、出来ればその木の枝の先端の直下を目安にして穴を掘って埋め込みます。環状に掘るか、または何か所か壺穴状に掘っても構いません。面倒な時には、地面にばら撒いても、肥効は落ちませんが効果はあります。速効性の化成肥料は寒肥には不適です。

## 【剪定】

この時期は、落葉樹の強い剪定にも向いています。休眠している時期なので、太い枝の剪定も可能になります。ただし、樹木を第一に考えて自分の都合で切り過ぎないようにします。切り口は、癒合剤などで被膜し、傷口の治りを早めるようにします。針葉樹も厳寒期が過ぎれば行う事ができます。落葉樹のヤマコウバシは、枯葉をつけて越冬します。雑木は、自然の形を考えて剪定します。

## 【ヤマコウバシ】



## 【春の開花】

ツバキのひとつの分類で、ワビスケツバキがあります。しかし、その分類は難しいです。〇〇ワビスケという名前が付いていても、系統が違うものもあります。まず始めに、シロワビスケが晩秋から咲きはじめます。この写真は、スキヤワビスケです。12 月から咲き始めています。

